

7月号 ㊦ うんのう魂



胆力（たんりょく）

校長 四本 博彦

1学期もいよいよ本日で終了し、明日から皆さんが心待ちにしている夏休みが始まります。この1学期間、皆さんは様々な事に挑戦し、その度自分で考え、仲間と共に語り合いながら行動することで、大きく成長しました。その成長を見守ることができた事に感謝しています。

さて、「うんのう魂（6月号）」で、ピンチは、最大のチャンス！！（ピンチを楽しもう）という内容を書きました。そこで、今回の7月号ではピンチの時に起こること、そしてそれをチャンスに変える心構えについて、書きたいと思います。

ピンチの際、「胆力（たんりょく）」が身に付いていないと、その先にやってくる未来に対しての恐れや不安で、心が波打ちます。いざというとき、恐れや不安に心が乱されないように、学校では日々の部活動練習や学校行事等の様々な場面で、意図的に胆力を身に付けられるような活動を取り入れています。

胆力とは、「物事に動じず、冷静に判断・行動する精神的な力」のことであり、具体的には自分の身に起きた困難な状況にも屈せず、強い意志や気性を持つことです。

人は、ピンチに陥ると良くも悪くも本当の性質（本性）が表面に出てきます。

自分の内面にベクトルを向け、このピンチをチャンスに変化させようとする人。ピンチで心を乱され、うまくいかない不安の渦巻く原因を他者に求め非難する人。まさに、ピンチこそが本物の人としての胆力を備えているかどうか試される分かれ目なのです。

剣豪、宮本武蔵は、心の内に燃え上がる炎のような闘志、台風の荒波のような激しい情熱を持ちながらも、表面では穏やかでいることを心得ていたそうです。

剣道の教えの中に、明鏡止水（めいきょうしすい）という言葉があります。明鏡は、一点の曇りもない鏡、止水は止まって静かにたたえている水のことです。この言葉は、邪念がなく澄み切って落ち着いた心を表します。

スポーツでも人生のあらゆる場面においても、いざピンチという時こそ、心を波立たせることなく、自分としっかりと向き合い、その瞬間を最大のチャンスと捉え、ピンチを楽しんでほしいと思います。この意識の領域に達することができるかどうか、それこそがもっとも大事なことです。これからの長い人生の中で、いつどんな場面で訪れるかわからないピンチに備え、日々の日常生活、練習や試合等で、心を波立たせない練習をしておくことをお勧めします。



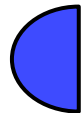
夏休みの予定

- 7月19日(日) 美ら海・美ら島大作戦
- 22日(水) 科学の甲子園ジュニア
- 27日(月) 樟南第二高等学校一日体験入学
- 8月12日(水) リフレッシュウィーク～16日
- 20日(木) 徳之島高等学校一日体験入学
- 21日(金) 出校日
- 22日(土) 樟南第二高等学校一日体験入学

喜念浜外来種駆除活動



7月1日(水)、1年生は環境教育の一環で、喜念浜外来種駆除活動を体験しました。虹の会の皆さんに協力いただき、鹿児島大学の外来種駆除実験に参加することができました。実際に実験用のポットを設置し、オウゴンカズラを駆除するための実験を体験しました。今後、夏休みに途中経過を観察したり、鹿児島大学から実験の経過を教えてもらったりしながら、研究を進めていく予定です。11月の文化発表会で、研究の成果を発表する予定です。

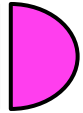


学校開放の日



7月3日(金)、「学校開放の日」として、学校保健委員会、給食試食会、家庭教育学級、弁論大会、学級PTAを開催しました。多くの保護者の方々に参加していただき、生徒や学校の様子を参観していただきました。また、家庭教育学級では、「スマホ写真講座」と題し、秋津写真館カメラマンの秋津忠博さんに、実習を含めた講座を行っていただきました。今後も魅力ある家庭教育学級を計画していきたいと考えていますので、多くの保護者の方々の御参加を心からお待ちしています。

徳之島トライアスロン



7月5日(日)、第39回徳之島トライアスロンが開催されました。1年生の有志が、エイドボランティアとして参加しました。炎天下の中、選手を応援したり、水やスポンジを渡したりと、一人一人活躍することができました。